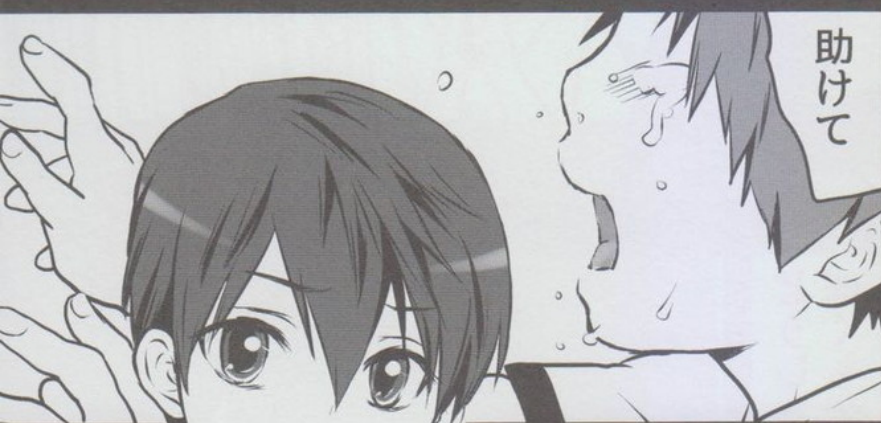
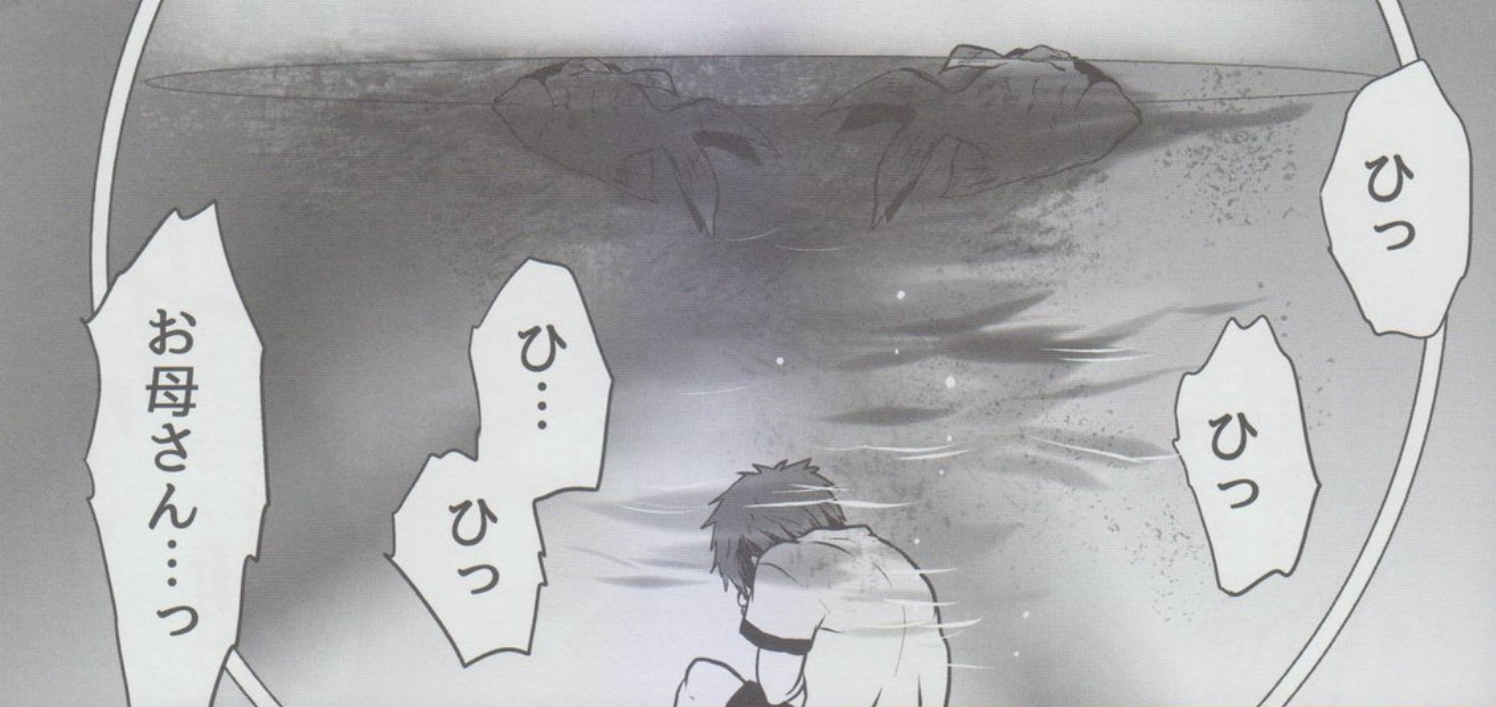


臆病な僕の
金魚は夏に眠り
君は決して泣かない。

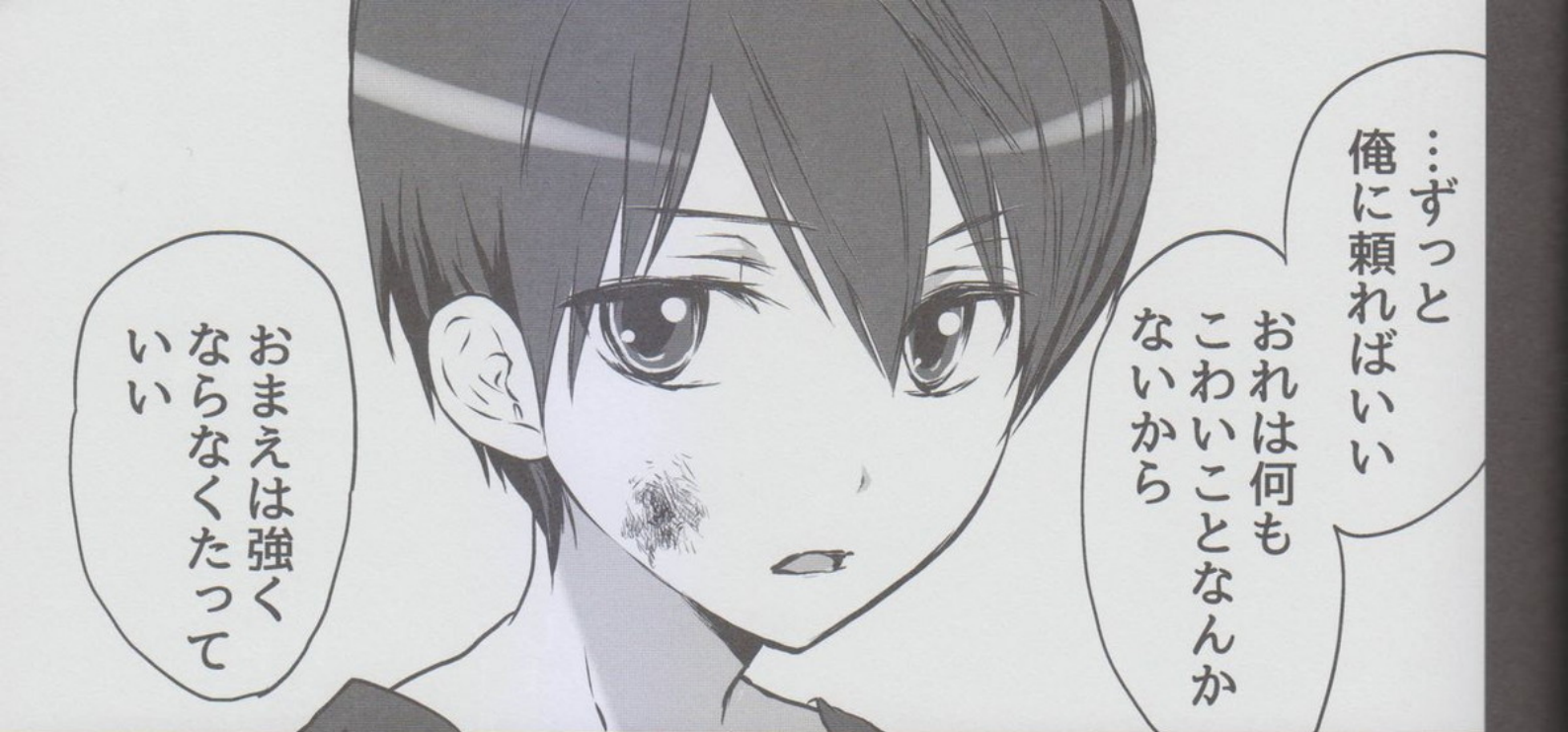
真琴×遙

R-18





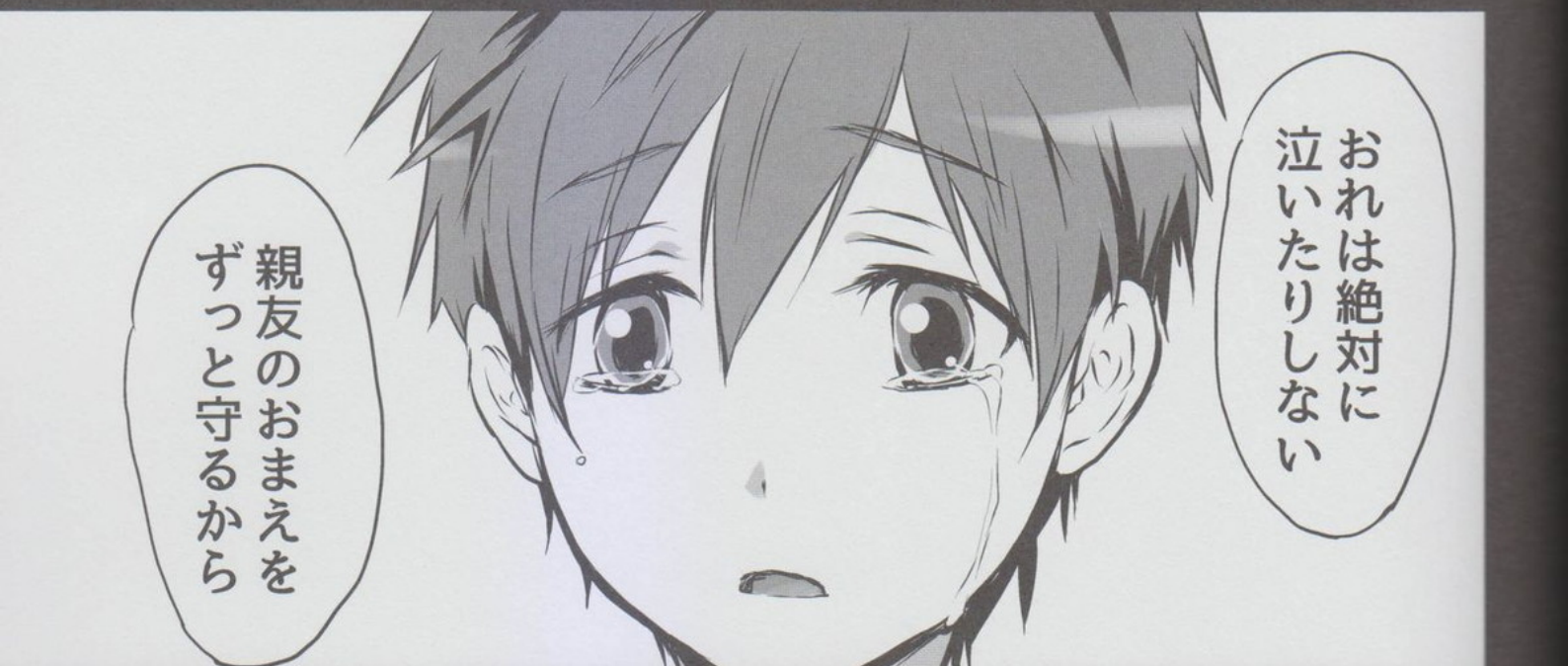
44
7



…ずっと
俺に頼ればいい

おれは何も
こわいことなんか
ないから

おまえは強く
ならなくたって
いい



おれは絶対に
泣いたりしない

親友のおまえを
ずっと守るから

ハルは幼い頃から
何も恐れなかった

悲しむことも
おびえることも
俺に任せて
ハルは何も恐れず
俺の前に立ち続けた

俺の前で
ハルが泣いたことは

ただの一度もない

高校2年の夏
俺は後輩と一緒に
溺れて死に掛けた

プールとは全然違う
しよっぱい水の中で
ハルが呼ぶ声を聴いた

もう安心だ
ハルが守ってくれる

ハルがいつもみたいに
助けてくれるから

臆病な僕の金魚は夏に眠り、
君は決して泣かない。

ハル アアア...

ありがとう...
ごめん
ハル

あの状況では
飛び込むしかなくて

怜を助ける
渚が行ってくれたんなら
本当によかった...!

ガクガク

まだ震えが
止まらない...
ハルがいなかったら
自分も今頃プカプカ
浮いてたんだと思うと

き...金魚...
覚えてる?
俺も...
あんな風に...

迷惑掛けて
ごめ...

ごめんね...

...っ！

ぎゅ、



……真琴……



ガ
ガ
ガ
ガ



俺が
守れないことだって……
あるんだ

だから……
あんまり
するなよ？

間に合わない
ことだって
ある……

する

こわい
ことは



パッパッパッ……

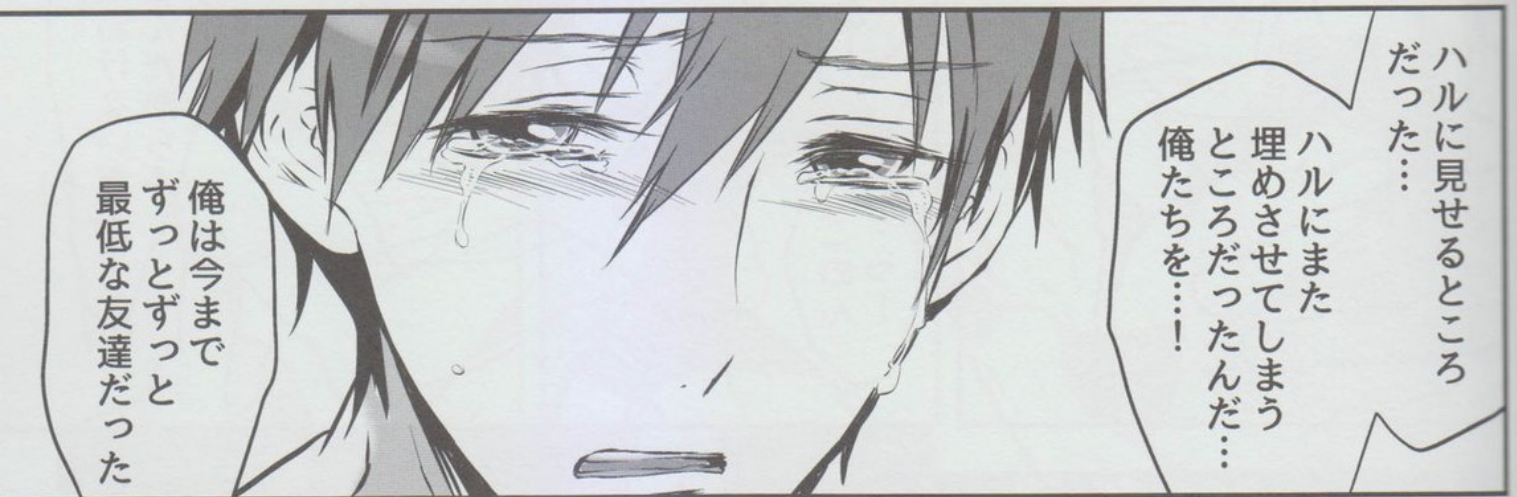






……怖かっただろ？

本当に
ごめん……！



ハルに見せるところ
だった……

ハルにまた
埋めさせてしまう
ところだったんだ……
俺たちを……！

俺は今まで
ずっとずっと
最低な友達だった



ハルが強いのをいいことに
守られることに甘んじて

結局俺は
自分で何一つ
責任を負わずに
ハルに押し付け
いたんだ

今回の合宿だってそうだ……
自分が海を恐れていること
なんかずっとわかってたのに
それをみんなにちゃんと
言うこともしないで
安請け合いました

何かあればハルが
きっと助けてくれるって……
いつも俺はそうやって……



筋肉だらけで
浮き袋も
仕込んでない
くせに……!!

ハル……っ

だいたいお前も怜も
海に浮かない!



お前の
しやべるな!

お前もう
しやべるな!

ええっ!



……バカ……

止まらな……っ



お前たちが死ぬわけないだろ!
俺と渚がついてんだから!

ごめん
ごめんな

俺は怖くなんか
ないからな……!
もう無事に済んだ
ことなんだから
何度も蒸し返すな!
バカ!

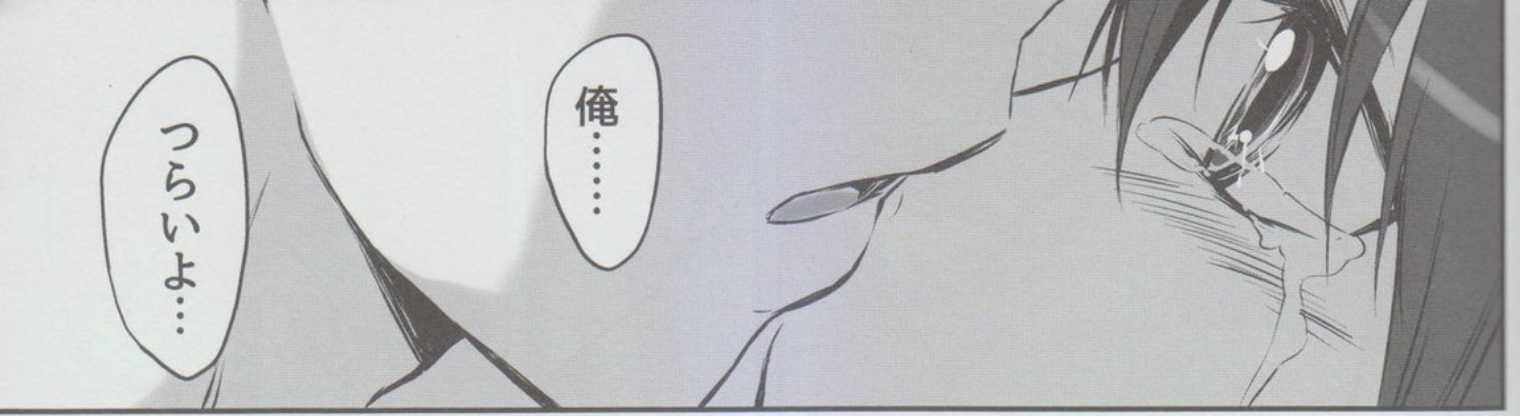
ごめん
……っ!



ハル……



……ごめん……



つらいよ…

俺…



俺が…
一番大事な人を…

俺が…
そうさせてたんだ



おやん…

俺が臆病なままだから
ハルは泣くことも怖がることも
できなかつたんだって…

世界で一番大切なハルを
ちゃんと見てなかつたことに
ようやく気付いたんだ



強くなりたい

俺は…



これからでも
遅くないかな…?



俺がハルを
呼ぶように

ハルが呼ぶのは
俺がいい



ハルの心を
守りたい：

強くなって
ずっとそばで



それが俺じゃなきゃ
いやなんだ



俺じゃない誰かを
ハルが呼ぶなんて
絶対に嫌だ

そのためには
今のままじゃ
だめなんだ



俺じゃない誰かが
ハルのそばにいるなんて



…誓わせて

ここで

約束させて？



—ハル…



—そんな風に
言うくせに

…できないんだろ？



踏み込む気
なんか…
…ああつ！



んっ！

……ハル…っ…！

…ハッ



……あるよ……



強くなったらとか
そんなこと
じゃないだろ…？

今…っって言っても
お前はどうぞ



俺が…まだ
子どものままに
見える？

俺の一番
エロいところを
握って…まだ
そう思う？
ハル



——生意気な
やつ



ハルが
許すつもりなら…
今ここで
するつもりだよ？



かあ



……ん……

ちゅっ
ちゅっ



真琴のくせに
…っ
んっ

グ
ッ



はあ…は…あ

はーっ
はーっ

ちゅ



ん……
真琴…

ハル…っ

ちゅ
ちゅ
ちゅ



…ハッ

ハッ

はあー
はあー

ちゅ
ちゅ



…んー…っ
うっ…

ハッ
ハッ!



……っ!
……はっ!



…もうダメ…もう…
うう…っ!

つくあっ!



っはっ!

はあっ
はあっ



…ハル…っ

ハル…好き…っ
好きでたまらない…!
ずっと好き…!



だあめ…
見せて…?

脚開いて
俺に見せて?

ハルのエロいとこ
俺に見せて…?

ハル



見せて…! ハルの身体

すごい…俺のやつ…して
そんなにしたの…?

…見るな…よ…っ
…っ…!!



指入れちゃう…

あつ…

あつ…
いや…

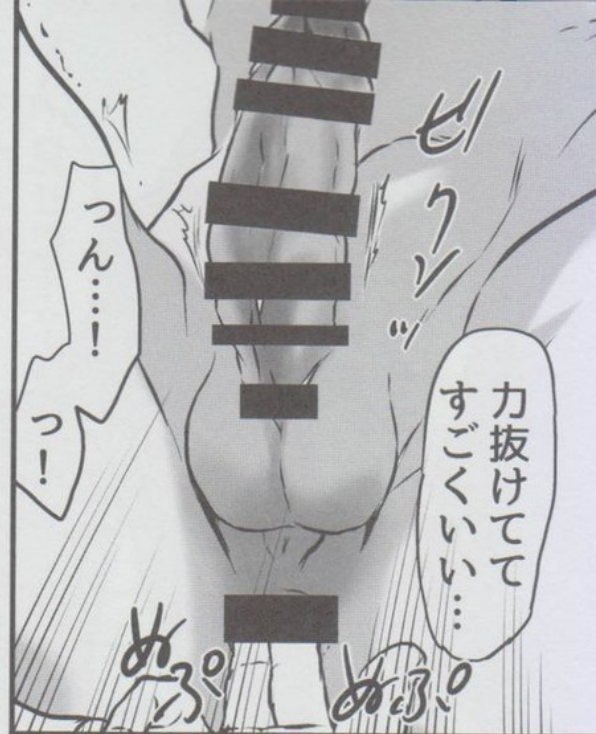
…う…っ…

ああ入っちゃった…
柔らかいね…
もっと抵抗されるかと思ってた…



ほんと？ いいね
中ふわふわしてる…
こんな感触だって
思わなかった…

キツキツだけど
痛くはない…？



力抜けてて
すごくいい…



想像してたのは
もっと固くて…
でも濡れ濡れで…

でも実際は
ぬるぬる
してないから
傷つきやすそう…
ガチガチのちんこ
なんか入れたら
やばいかな…？
でも柔らかいから
入りそう…



もう回数も
わかんないくら
想像して抜いた

うん してた…



…いつ
いれ…つるの…
想像してたのか…？
俺に…



だけど
実際は

征服欲っていうか：
俺って結構Sなのかな？
とか思ったし：：：だけど
出したら自己嫌悪で最悪

妄想の中のハルは：
俺のこれを奥まで入れたら
結構痛がって：：：泣いてさ
俺はハルに悪いって
思うのにすごく興奮してて



最後までしたい
なんて言えない：：

だから：ここに
入れさせてなんて



ハルが痛がったら
俺はできなくなると思う：

大切な人の泣き顔とか
苦しんでる涙なんて
絶対見たくないし
そうさせてるのが
自分だなんて：



はっ
はっ

はあ

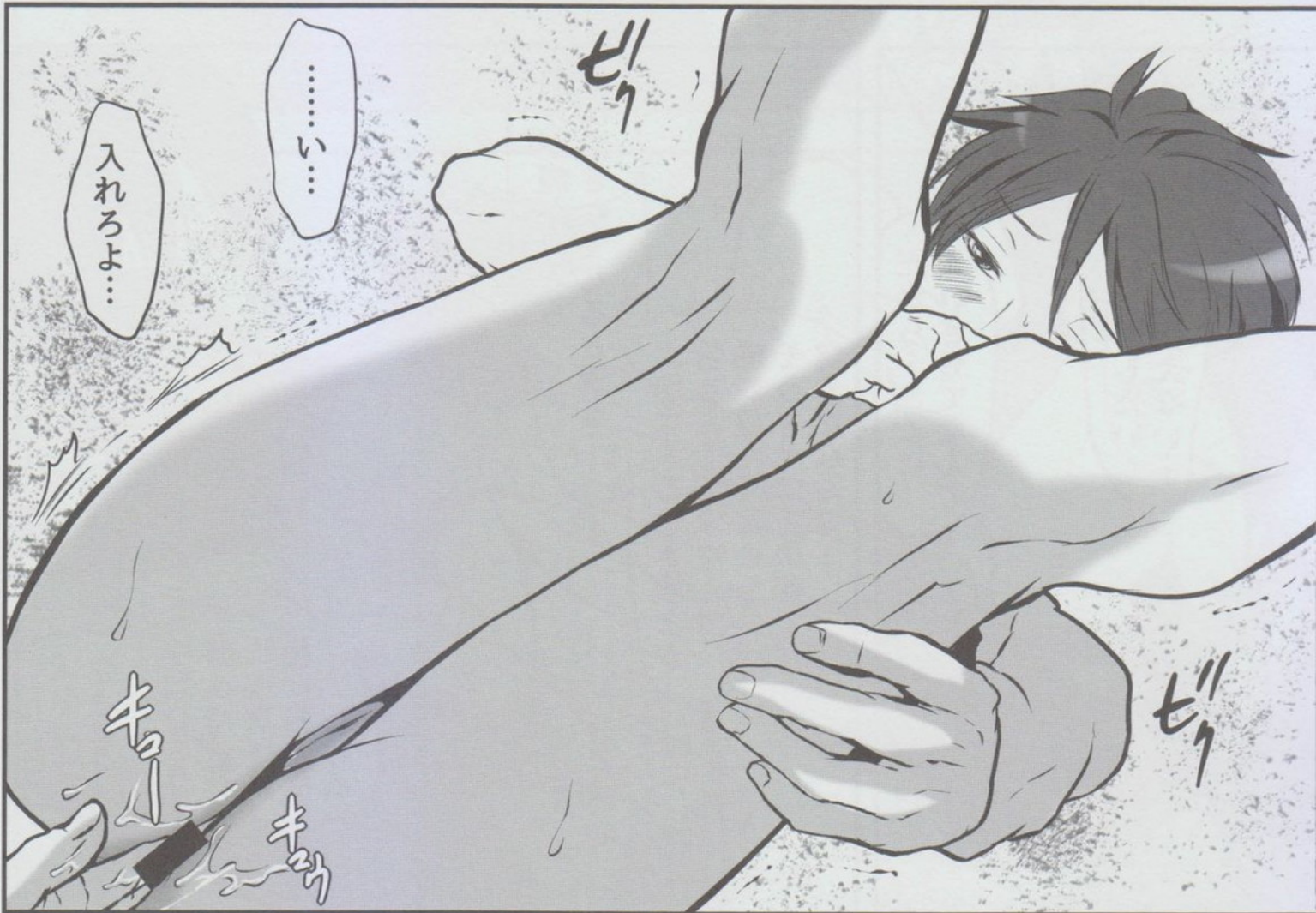
そんなことは
しないから：

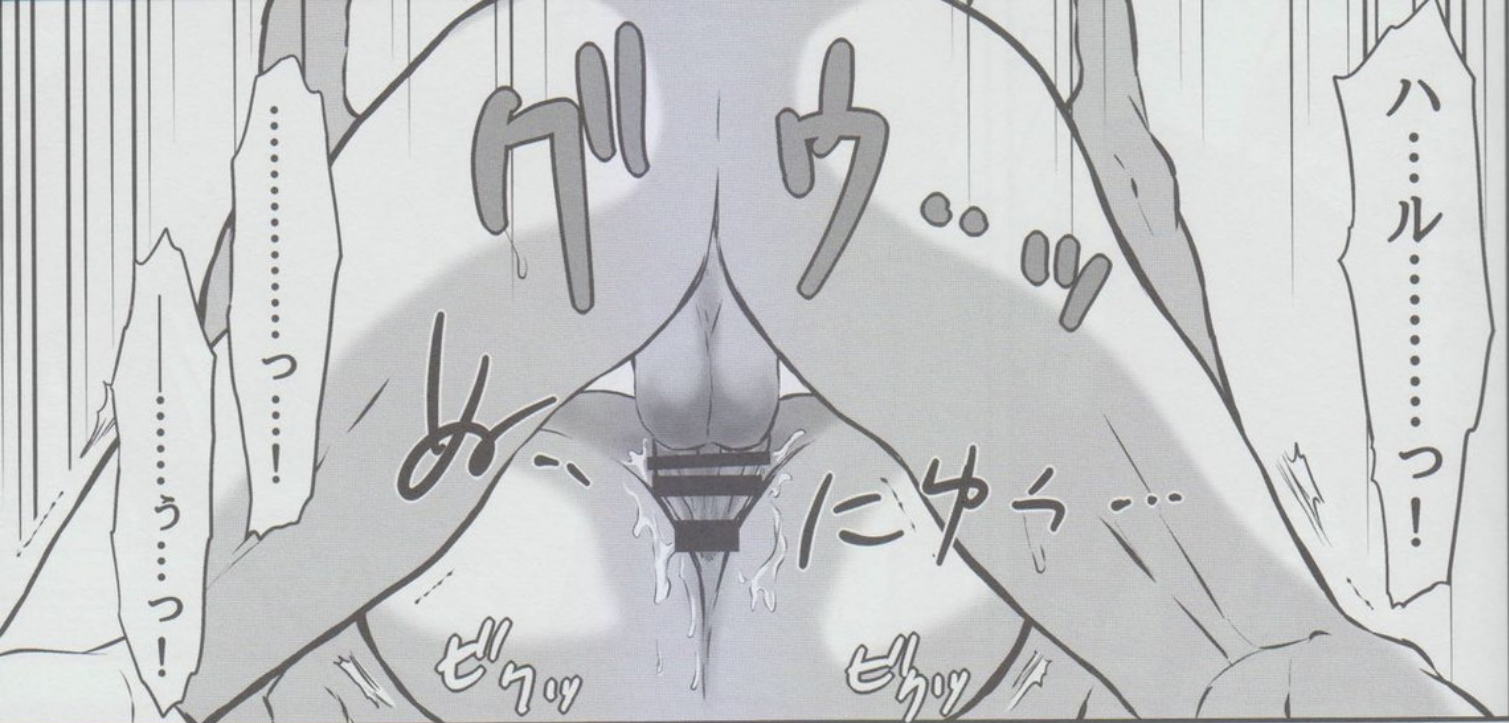
入れて欲しいって
言わない限り：



ハルが：

はー
は





ハ…ル…っ！

ガウ…ッ

にゆる…

びびり

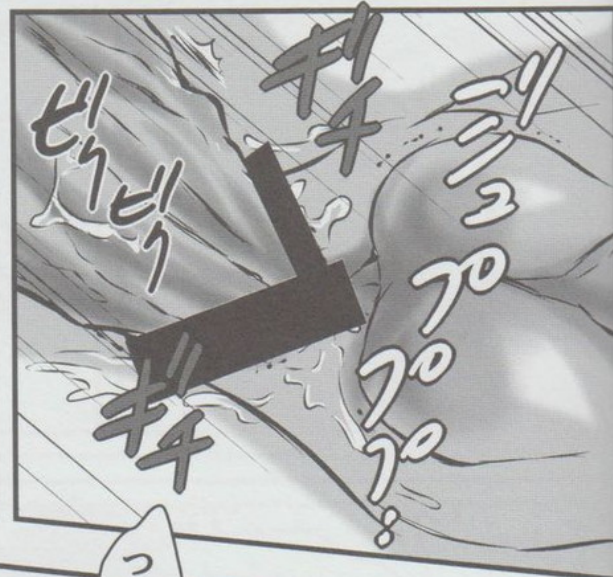
びびり



痛い！
痛い！

硬いっ！
でか…いい…っ！

はあっ！



ビビッ
ゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴゴゴ



だけど腰が震えて…
止まらない…っ
ゆっくりこすって
入ってくる…！
いきそ…っ

っはっ！

びびり

ゴゴゴ！

ガクガク

痛いって言ったら
やめられる…！
やめてほしくない…っ



お前は？
お前は…

これが…っ



たぶん…俺
これが
気持ちいい…



ごめん……っ

…ハル……っ

…出す



ふーっ

ふーっ

ふーっ

ゼリッ

ゼリッ



…ウツ!!
ふ……う……っ!

フリ

フリ

ウツ……!

ゼリッ

あ……あ!

あ!



あ
はあっ!!

はっ

はっ

あっ!!



ついたっ!
つあ……あ……あつ!

いや……ダメ……っ……!

ゼリッ

フリ

フリ

ゼリッ

フリ

フリ

ゼリッ

フリ



あ.....っ.....!

ぽり

め

んっ
う!

.....ごめん...っ!

ちゅん
め

でもこれで
滑りやすくなっ
た...っ



.....ぜっ

ゼエ

ズッ

キッ



すごい
深い...っ!

あ
あつ

おや

おや

待っ...て!

.....あ

.....あ

あ.....っ

ん





ぬくな...っ! ふあ... はあ...っ! ん...っ!

あ...っ!
ひっ!
中...っ!
中...あ...っ
もう...
もう...っ!



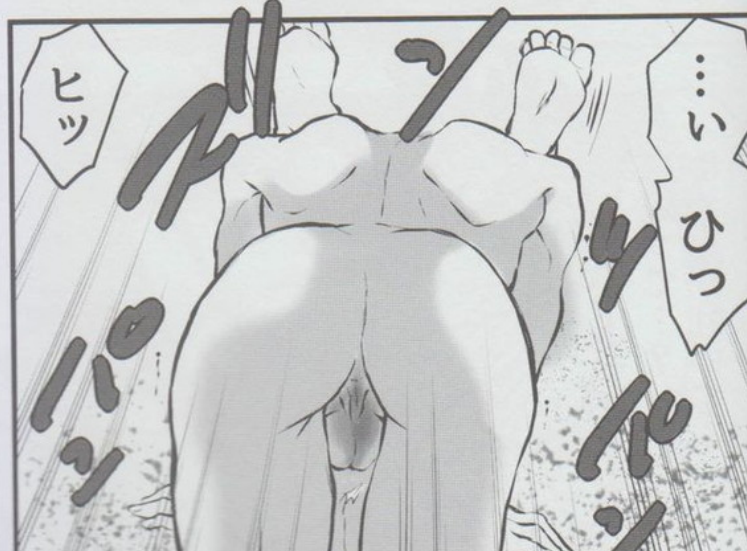
ハ...ル...っ!



.....っ!



ハ...ル...っ!



ヒッ

...いひっ



はっ!

苦しい?!

はっ!

フッ
フッ
フッ



ハッ

ハッ

かはっ
はっ



空気が

押し出される

ふっ



深く
突かれる
度に

かは

かつ

肺から
空気が

ビッ

ビッ

フッ



ハル...っ
大丈夫?

んっ
は

は

息吸って...?
ゆっくり吐いて...

ハッ

ハッ



これから…
何度も

この先何度も
するつもりだから…



は…っ…

ゆっくり…
息して…

慣れて欲しい…
ハル

は…っ
ふ…あ…っ

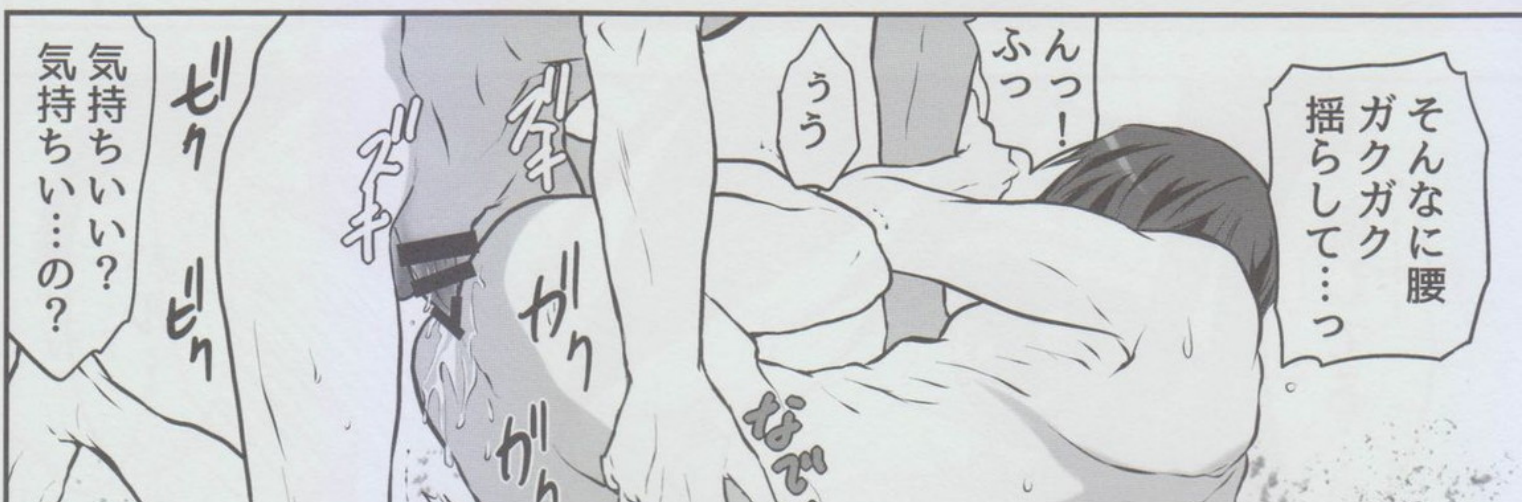


愛してるよ…



ハル…

愛してる…





いかせたい…
ハルのこと…っ

んあ
あつ!
あ!

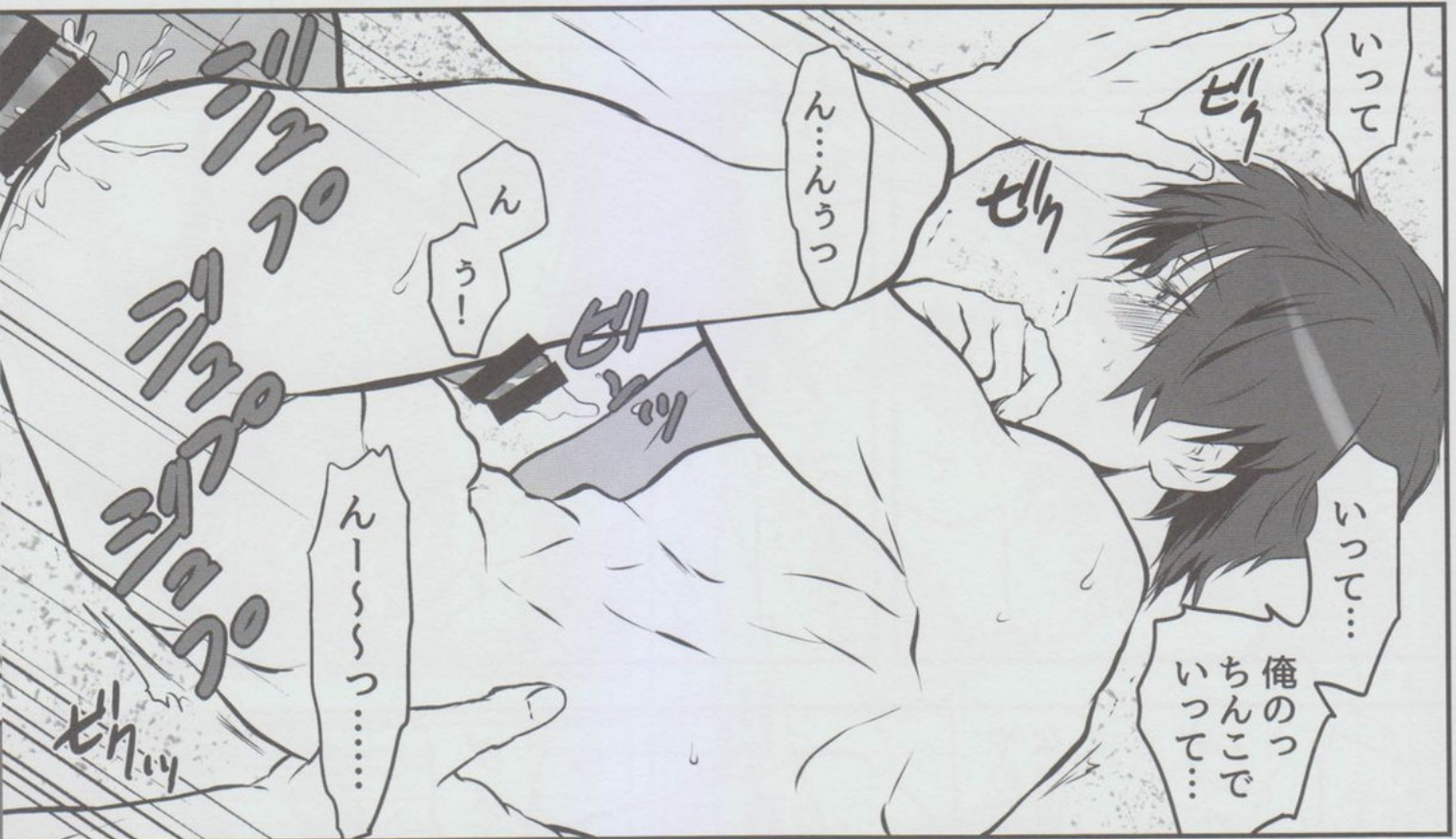


顔見せて…っ

気持ちいい顔
見せて?
かわいい…

あつ…

あ
あつ



いって

ん…んうっ

ん
う!

いって…

俺のっ
ちんこで
いって…

ん…っ…



んっ

っん!



いって…



……あああつ！

あああつ！

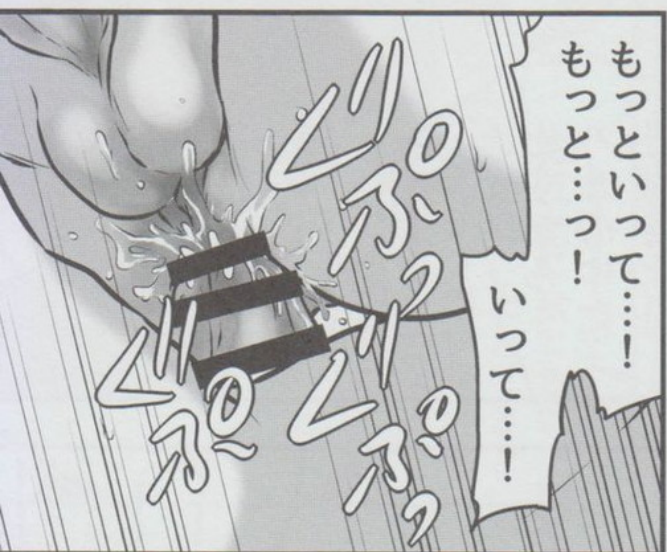


……っ……っ……っ……！



う……ご
動く……な！
やめ……

や……め……！
あ……あ……！



もっといつて……！
もっといつて……！

……っ……！



しぬ……
しんじや……う……
い……っ……
いつてるからああ！

あああつ！

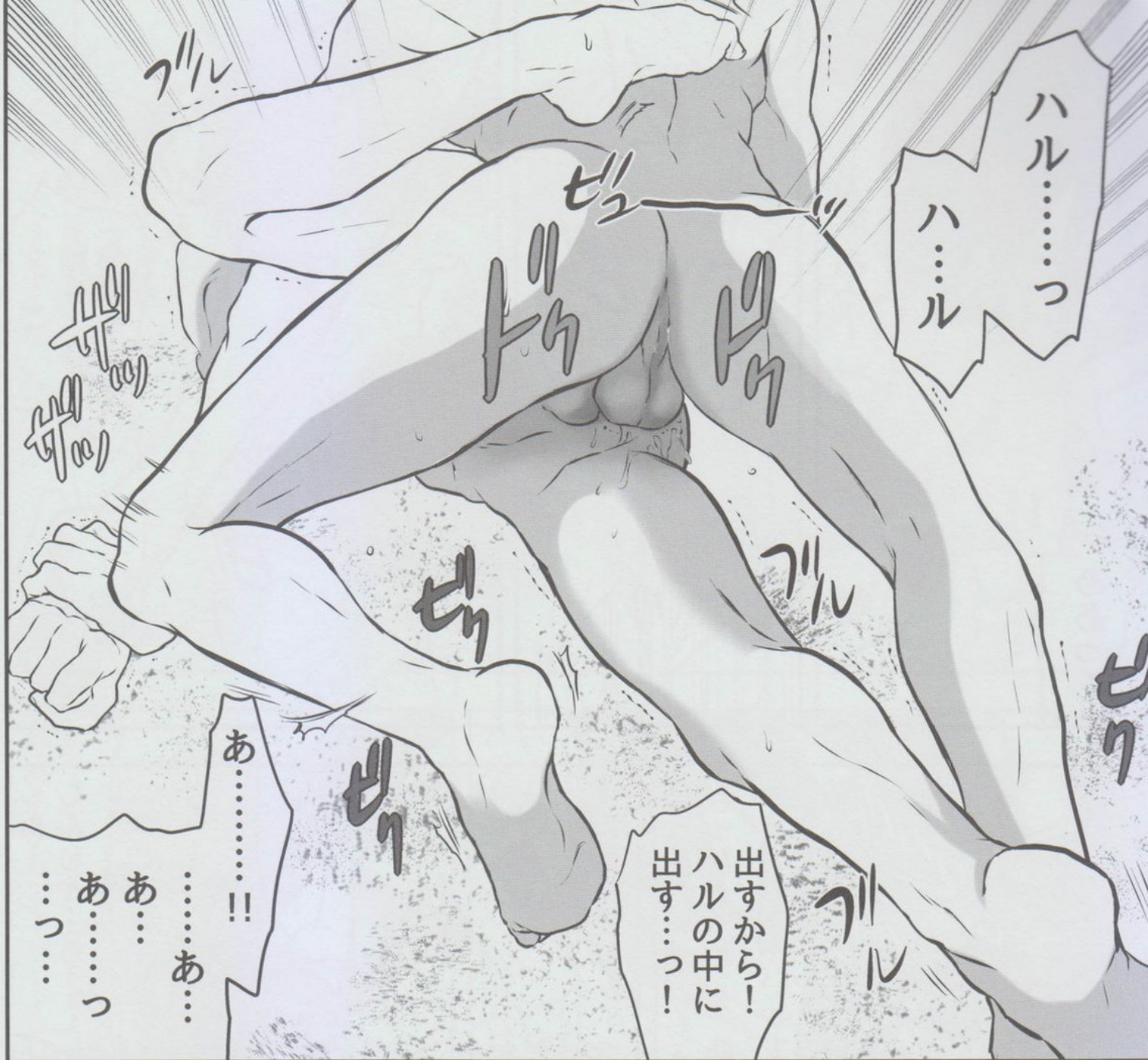
今いつてるから……っ……ああ！

あつ！



や……

い……っ……





ハ P P P P...

言ってもいい？

…なに



…ああ

つまり
凜のこと…

お互いにまともに
向き合ったら…また
ハルがきつい思いを
するかもしれない
なってると思うんだ



—ハルが
また競泳を
すること…

一度競泳をやめた
理由に…また
ぶつかること
なるかもしれない
って思う



俺はハルに
守ってもらってばかりの
最低の友達だったし

最初にハルが競泳をやめた
あの頃は 俺に何も
言えなかったとしても…

これからは俺も
ハルとちゃんと
話して
受け止めて支えたい

…頼りにするには
まだ足りないかも
しれないけど

もしよかったら
俺を巻き込んでよ

俺はこれまでと
同じように
ずっとハルの
そばにいるし

ハルが泳ぐにしても
やっぱりやめるにしても
その理由を
一緒に見つけたい



俺はハルに夢中だから
どこにだって喜んで
付いて行くからさ

こんな一途なやつ
他にいないと
思わないか？

……いるだろ
目の前に

……

……痛い
真琴……

ご覧くださりありがとうございます！
も、もう、ものすごく大変な原稿でした！
最終仕上げを終えて、結構エロく描けたんじゃないかと
自分で思っています。いかがでしょうか…？
今年はずい数の水泳オンリーがあるので、
オフ活動をいっぱいしたいと思つてワクワクしています。
次回は、十一話あたりを弄つてみたいとぼんやり思っています。
ありがとうございました！

だん

だん

dan_free_off@yahoo.co.jp
<http://www.pixiv.net/member.php?id=2666765>

2014年2月9日 発行

表紙：関西美術印刷
本文：プリントウオーク

2014 Free!-----
MakoHaru R-18
-----Dan.

